

二月四日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

新聞記者さんの話し

心	と	く	神	と	い	た	
に	思	さ	あ	て	ろ	い	ぼ
残	い	ん	お	も	い	な	く
っ	ま	ん	お	じ	ち	の	は
た	し	け	大	大	な	下	
時	間	た	の	事	話	は	今
間	だ	四	で	さ	話	を	神
な	十	五	分	間	を	新	あ
思	い	分	間	を	聞	聞	記
ま	し	た	け	け	た	さ	大
し	た	け	あ	か	し	ん	し
た	で	う	た	今	聞	こ	ら
ま	も	な	こ	ま	ま	の	イ
た	す	時	間	を	は	し	し
時	間	く	だ	た	ん	た	や

があったりも、と聞けたらなと思えました。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

社人云

ア	ツ	ま	い	一	ッ		
カ	ト	に	フ	タ	ガ	ぼ	
コ	の	リ	レ	ビ	ス	く	
ク	マ	コ	マ	イ	コ	は	
ケ	ベ	シ	ケ	カ	イ	印	
ケ	ス	ハ	タ	ク	ソ	イ	食
ト	ホ	カ	コ	デ	場	ブ	の
イ	ト	デ	ア	テ	所	コ	
コ	ト	セ	リ	イ	イ	ト	た
ト	マ	大	新	リ	タ	ア	と
デ	イ	事	間	カ	ニ	リ	キ
ス	タ	カ	カ	イ	ス	シ	し
ホ	ト	見	上	カ	フ	タ	新
ク	ハ	タ	タ	ク	イ	シ	し
ハ	イ	シ	ネ	ハ	ス	イ	し

げんこつをかいたりするのにながすのでもうかすといとあまじました。

二月四日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

二好一人の話し

る	思	ゆ	人	て	京	ワ	
の	い	る	だ	い	都	阪	
に	ま	み	二	た	新	神	
し	が	と	ん	た	聞		
た	な	を	だ	な	と	淡	
れ	い	知	な	協	聞	路	
に	こ	よ	し	力	社	大	
直	の	ろ	し	思	し	震	
接	話	に	い	ま	が	災	
あ	を	語	り	地	ん	の	
聞	聞	り	た	震	は	経	
た	い	つ	に	備	あ	験	
人	だ	て	え	と	新	を	
を	け	い	お	き	聞	か	
励	ま	て	き	つ	を	あ	
す	悲	た	い	心	の	て	
記	く	な	は	の	字	ら	
事	な						

作った新聞社は、とてもすごいと思えました。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

新聞記者の話し

な	所	人	な	新	い	も	
在	に	合	あ	聞	う	大	松
事	も	行	と	の	二	変	は
だ	行	く	ニ	ネ	と	だ	今
と	こ	思	っ	タ	を	し	日
い	も	も	て	探	り	と	の
ま	ま	ま	い	ま	ま	し	話
し	ま	ま	ま	ま	ま	し	を
た	ま	ま	ま	ま	ま	し	聞
。	ま	ま	ま	ま	ま	し	い
け	の	ふ	が	け	は	い	て
ど	た	新	な	今	こ	も	新
や	人	聞	い	ま	も	あ	聞
っ	は	記	か	で	あ	る	者
ほ	行	者	ら	っ	あ	る	は
り	け	は	大	毎	日	と	と
苦	力	有	変	日	と	と	と
し	的	名	な	と	と	と	と

いと思つのに、それのり、えられる人は、ふいと思ました。

2月4日 金曜日
新聞
五分間
百六十字書き切り作文

今日、神戸新聞の「みよし」さん、オンラインで授業をしてくださいます。新聞の「みよし」さん、オンラインで授業をしてくださいます。新聞の「みよし」さん、オンラインで授業をしてくださいます。

2月4日 金曜日
五分間
百六十字書き切り作文
インタビュー

新聞の「みよし」さん、オンラインで授業をしてくださいます。新聞の「みよし」さん、オンラインで授業をしてくださいます。新聞の「みよし」さん、オンラインで授業をしてくださいます。

2月4日 金曜日
五分間
百六十字書き切り作文
ありがとう!!

今日はありがとうございました。今日はありがとうございました。今日はありがとうございました。

2月4日 金曜日
五分間
百六十字書き切り作文

今日はありがとうございました。今日はありがとうございました。今日はありがとうございました。

2月4日 金曜日 五分間 百六十字書き切り作文

話を聞いて

私	は	新	聞	き	て	と	っ	て	い	ま	す	。	今	日	の	三	好	さ	ん
の	話	を	聞	い	て	と	っ	て	い	ま	す	。	今	日	の	三	好	さ	ん
こ	ろ	を	知	る	こ	と	が	で	ま	ま	し	。	新	聞	の	細	か	い	と
は	い	る	写	真	は	こ	と	が	で	ま	ま	し	。	新	聞	の	細	か	い
起	こ	と	も	大	変	そ	う	だ	に	わ	ざ	わ	。	行	っ	て	こ	の	ア
び	新	聞	の	た	時	に	三	好	さ	ん	を	思	い	ま	し	。	助	け	る
は	感	謝	の	気	持	ち	を	も	ち	な	が	り	読	み	た	い	で	す	。

は感謝の気持ちもちながら読みたいです。

2月4日 金曜日 五分間 百六十字書き切り作文

わざわざ

今	日	は	神	戸	新	聞	の	本	社	か	ら	三	好	さ	ん	が	ト	リ	モ		
ト	で	新	聞	や	記	者	に	つ	い	て	か	ら	三	好	さ	ん	が	ト	リ	モ	
意	し	て	詳	し	く	説	明	し	て	く	れ	ま	し	。	ボ	ン	が	ト	リ	モ	
好	さ	ん	が	リ	モ	ト	で	出	て	く	れ	ま	し	。	ボ	ン	が	ト	リ	モ	
セ	ン	で	し	タ	リ	モ	ト	で	出	て	く	れ	ま	し	。	ボ	ン	が	ト	リ	モ
説	明	を	聞	いた	。	そ	う	い	な	の	初	め	は	く	レ	ナ	。	知	り	ま	。
い	ま	し	た	。	そ	う	い	な	の	初	め	は	く	レ	ナ	。	知	り	ま	。	。
か	ど	う	ご	ざ	い	ま	し	た	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

かどうございしました。

2月4日 金曜日 五分間 百六十字書き切り作文

やりがや大変さ

私	は	話	を	聞	い	て	記	者	の	大	変	さ	そ	し	て	や	り	が	。
や	楽	し	さ	か	伝	わ	て	ま	ま	し	。	最	近	新	聞	を	見	。	。
な	く	も	下	で	わ	が	る	か	ら	見	ま	せ	ん	で	し	。	。	。	。
で	も	新	聞	の	た	め	に	何	ん	も	の	人	が	協	力	し	。	。	。
思	う	と	読	み	た	い	と	思	い	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
有	名	人	に	会	え	る	も	い	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
事	を	経	験	し	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
い	ま	し	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。

たすくや、ておたいと思ひました。

2月4日 金曜日 五分間 百六十字書き切り作文

ありがとうございます

今	日	の	社	会	の	授	業	の	時	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
今	日	の	社	会	の	授	業	の	時	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
ら	う	に	き	て	も	ら	い	ま	し	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
し	ん	と	思	っ	て	授	業	を	し	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
ラ	イ	ド	に	ま	と	め	な	だ	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
ま	は	あ	い	か	と	う	ご	ざ	い	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
ま	し	た	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	

プレゼントなどをもらえてもうれしかったです。

二月廿日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

三好さんへ

わたくしが三好さんの
 ことばは、三好さんの
 心を、大変に
 打動した。その
 文章が、とても
 素晴らしい。記者
 の仕事が好き
 である。今日
 は、お花見の
 季節です。春
 風が、気持ち
 よい。三好さん
 へ、お花見の
 季節、楽しんで
 ください。三好
 さんへ、お花見
 の季節、楽しんで
 ください。三好
 さんへ、お花見
 の季節、楽しんで
 ください。

二月廿日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

三好さんの相心い

私は三好さんの
 相心い、とても
 素晴らしい。三
 好さんの、文章
 が、とても、美
 しい。三好さん
 へ、お花見の
 季節、楽しんで
 ください。三好
 さんへ、お花見
 の季節、楽しんで
 ください。三好
 さんへ、お花見
 の季節、楽しんで
 ください。

へ情報を発信して、おんながたよめる新聞
は、すこいです。

二月廿日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

社会

今日の話を聞いて、新聞は苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。
 新聞は、苦勞して、作られた。

二月廿日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

新聞社見学

今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。
 今日、神戸新聞社へ見学に行きました。

と、思った。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

今日の話を聞いて

し	人	こ	き	一	自	ら	今
た	の	と	な	支	分	日	日
。	気	か	か	知	の	か	、
家	持	目	ら	り	好	た	三
に	ち	に	し	ま	き	た	好
帰	も	う	り	し	な	へ	さ
っ	写	か	よ	た	人	の	ん
た	真	ん	う	の	の	お	の
ら	直	で	を	写	真	話	話
。	を	き	見	を	を	を	を
家	見	て	て	わ	選	聞	き
族	な	し	運	入	ん	き	、
に	か	ら	ん	し	る	い	い
話	ら	ん	さ	い	さ	い	手
し	伝	い	い	の	あ	の	ま
たい	ゆ	に	い	時	の	を	で
い	と	あ	の	き	き	ら	知
と	思	き	ま	た	の	や	知
思	ま	す	す	す	す	す	す

ます

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

じゃぎょうをふりかえて

私	私	私	私	私	私	私	私
は	は	は	は	は	は	は	は
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
の	の	の	の	の	の	の	の
話	話	話	話	話	話	話	話
を	を	を	を	を	を	を	を
ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ
り	り	り	り	り	り	り	り
か	か	か	か	か	か	か	か
え	え	え	え	え	え	え	え
な	な	な	な	な	な	な	な
て	て	て	て	て	て	て	て
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
は	は	は	は	は	は	は	は
大	大	大	大	大	大	大	大
切	切	切	切	切	切	切	切

うございました。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

三好さんのお話を聞いて

三	三	三	三	三	三	三	三
好	好	好	好	好	好	好	好
さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ
ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん
の	の	の	の	の	の	の	の
お	お	お	お	お	お	お	お
話	話	話	話	話	話	話	話
を	を	を	を	を	を	を	を
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
い	い	い	い	い	い	い	い
て	て	て	て	て	て	て	て
神	神	神	神	神	神	神	神
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
の	の	の	の	の	の	の	の
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
は	は	は	は	は	は	は	は
ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま
た	た	た	た	た	た	た	た
の	の	の	の	の	の	の	の
思	思	思	思	思	思	思	思
ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ
な	な	な	な	な	な	な	な
い	い	い	い	い	い	い	い
け	け	け	け	け	け	け	け
で	で	で	で	で	で	で	で
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
に	に	に	に	に	に	に	に
つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ
い	い	い	い	い	い	い	い
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
ラ	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ド	ド	ド	ド	ド	ド	ド	ド
も	も	も	も	も	も	も	も
話	話	話	話	話	話	話	話

うかがって伝える内容で、とても分かりやすかったです。新聞のことも考えてみました。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

話をきいて三好さんに

三	三	三	三	三	三	三	三
好	好	好	好	好	好	好	好
さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ
ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん	ん
の	の	の	の	の	の	の	の
お	お	お	お	お	お	お	お
話	話	話	話	話	話	話	話
を	を	を	を	を	を	を	を
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
い	い	い	い	い	い	い	い
て	て	て	て	て	て	て	て
神	神	神	神	神	神	神	神
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
の	の	の	の	の	の	の	の
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
は	は	は	は	は	は	は	は
ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま
た	た	た	た	た	た	た	た
の	の	の	の	の	の	の	の
思	思	思	思	思	思	思	思
ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ
な	な	な	な	な	な	な	な
い	い	い	い	い	い	い	い
け	け	け	け	け	け	け	け
で	で	で	で	で	で	で	で
新	新	新	新	新	新	新	新
聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞	聞
に	に	に	に	に	に	に	に
つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ
い	い	い	い	い	い	い	い
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
ラ	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ	ラ
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ド	ド	ド	ド	ド	ド	ド	ド
も	も	も	も	も	も	も	も
話	話	話	話	話	話	話	話

いきました。記者が、とても面白い話を聞きました。三好さん、ありがとうございました。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

新聞記者の仕事

ぼくは有名な人	に会えること	オオしいこと
オオ感しました	なせなら昔から	好きでなう人
会えたらともう	れいし、ぼくは	たうたう大
谷瀬やイチロー	選手に会えたら	さうおれ
しいです。あと、	三好さんを出して	くたさう
たの直徑らmの	テントを見つけて	ださう
ますどうするか	やた人に先生に	報告して
神戸新聞に	れんらくする	なにか分り

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

社会

ぼくは、三好さんの話を聞いて、新聞記者は
はずいばと改めて思いました。新聞記者は
取材などの仕事をすぐこなしたり、
と悪いおもしろい。あと電燈の話を聞いて、
電燈はおもしろい。電燈は、
おれたりするの、高速度道路など、
ました。三好さんに感謝を改めたいので、

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

社会三好さんの話

私が一番印象に残った人、
こなたで話すと、
そんなことをいって、
業をこなし、
新聞をこなし、
聞きたくする人、
聞き手も考えようと思つた。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

新聞

ぼくは、新聞記者は
はずいばと改めたいので、
取材などの仕事をすぐこなしたり、
と悪いおもしろい。あと電燈の話を聞いて、
電燈はおもしろい。電燈は、
おれたりするの、高速度道路など、
ました。三好さんに感謝を改めたいので、

2月4日 金曜日

社会 感じたこと

五分間

百六十字書き切り作文

た	て	ち	こ	ア	作	な	今
こ	れ	の	も	の	と	思	日
か	く	新	大	ト	を	い	の
ら	だ	聞	変	決	る	こ	話
ま	さ	が	ら	め	と	し	を
さ	こ	と	な	り	を	た	開
ま	い	く	感	印	り	毎	て
ま	か	は	の	い	刷	ま	日
な	ら	し	は	ま	を	し	新
情	だ	新	た	り	そ	を	聞
報	と	聞	毎	す	し	し	作
を	実	社	日	る	て	て	人
取	り	加	の	の	新	聞	は
人	ま	学	私	は	し	聞	こ
れ	し	し	た	と	イ	を	い

こいまたいと思ひます。

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

三好さんの話を聞いて

今	日	新	聞	社	の	話	な	ど	を	聞	い	て	印	象	に	残		
こ	と	は	神	戸	ル	の	話	な	ど	を	聞	い	て	印	象	に	残	
わ	た	り	お	店	だ	の	話	な	ど	を	聞	い	て	印	象	に	残	
か	り	を	見	ら	が	ん	ば	れ	る	と	思	い	ま	す	は	う	の	
神	戸	ル	を	見	ら	が	ん	ば	れ	る	と	思	い	ま	す	は	う	の
所	の	明	る	も	も	然	ち	が	う	か	う	か	う	か	う	か	う	か
う	気	持	ち	も	も	然	ち	が	う	か	う	か	う	か	う	か	う	か

から、新聞を見ていろいろこのを写ぶと思ひます。なので私はそれで情報を得てみんなに伝えていきたいです。

2月4日 金曜日

三好さんの話を聞いて

五分間

百六十字書き切り作文

そ	と	と	災	た	所	ア	三
し	思	協	の	く	に	て	好
て	い	力	こ	さ	て	す	さ
語	ま	し	と	の	い	ん	の
り	し	て	を	有	ろ	だ	話
継	い	新	被	多	ろ	な	を
い	ぼ	聞	害	人	と	思	い
い	く	に	に	会	人	い	て
ま	も	す	な	り	に	ま	ぼ
た	こ	な	り	な	て	ま	く
い	の	人	な	が	阪	大	は
と	こ	と	ら	も	神	路	は
い	を	本	当	京	淡	路	は
ま	し	志	に	都	大	路	は
た	れ	す	新	聞	震	大	は
ず	い	い	い	い	い	い	い

2月4日 金曜日

五分間

百六十字書き切り作文

三好さんの話

私	は	三	好	さ	ん	の	話	を	聞	い	て	こ	の	よ	う	な	こ
と	を	考	え	ま	し	た	。一	つ	目	は	、	新	聞	記	者	の	出
し	を	考	え	ま	し	た	。一	つ	目	は	、	新	聞	記	者	の	出
事	を	実	際	に	そ	の	場	に	行	き	ま	す	。あ	ち	こ	ち	の
た	り	、	そ	れ	を	原	こ	う	で	す	。二	つ	目	は	、	淡	路
の	仕	事	が	あ	る	か	う	で	す	。二	つ	目	は	、	淡	路	大
事	た	む	と	い	う	か	う	で	す	。二	つ	目	は	、	淡	路	大
と	ま	で	も	取	材	は	が	か	せ	な	い	し	、	火	事	十	土
と	ま	で	も	取	材	は	が	か	せ	な	い	し	、	火	事	十	土

ずれの現場に実際に行為がなくはならないから、改めて新聞記者としていなと感じました。

2月4日 金曜日

五分間 百六十字書き切り作文

さいがいと新聞

の	い	役	た	者	い	あ	
中	か	に	い	を	け	私	
の	あ	立	し	目	な	た	
役	あ	ち	て	指	い	時	
に	て	た		し	と	も	
立		か	弱	た	い		
っ	三		い	の	う	新	
大	好	た	人	は	こ	聞	
め	さ	か	の	な	と	記	
に	ん	ら	味	せ	と	者	
	も	と	方	で		は	
新	大	い	に	す	三	し	
聞	変	う	な	か	好	白	
記	だ	事	？	？	さ	事	
者	ら	で	と	い	か	を	
と	う	す	い	か	緑	さ	
し	け	。	世	う	け	か	
て	と	さ	の	質	新	い	
		い	中	問	聞	か	
動	世	か	の	に	記	と	

うことを代本當にすてまなことたなと思ひました

2月4日 金曜日

五分間 百六十字書き切り作文

語り継ぐ

ま	は	た	へ	一	ま	ぐ	
し	な	。護	人	し	し	私	
した	い	ま	り	た	と	は	
。	。	た	人	。	い		
今	と	災	か	か	21	う	
日	思	害	な	後	年	言	
は	い	は	け	の	前	葉	
三	な	繰	れ	世	の	か	
好	が	り	ば	代	阪	何	
さ	ら	返	な	へ	神	度	
人	備	す	ら	。	。	か	
。	え	の	な	そ	淡	出	
あ	て	で	い	の	路	て	
り	い	と	世	大	き	い	
か	き	備	強	代	震	て	
と	た	え	く	か	災	印	
う	い	に	感	次	を	象	
ご	と	ゴ	じ	の	私	に	
ざ	思	い	ま	せ	た	残	
い	い	ル	し	代	ち	り	

ました。